

科目ナンバリング		U-LAS04 20042 LJ32							
授業科目名 <英訳>	ジェンダー論 Gender Studies			担当者所属 職名・氏名	文学研究科 教授 川島 隆				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	火3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>現代社会に生きる女性や男性は、その性別(ジェンダー)ゆえに、どのような問題に直面しているのだろうか。その現実にも多面的に光を当て、淵源を探ることにより、日常の中でジェンダーにまつわる問題に気づき、課題解決のための実践ができるようになるための基礎的知識を身につけることをめざす。</p> <p>「性」が生物学的にどのように位置づけられてきたかを押さえることから出発し、今年度は特に「文化産業」という観点からジェンダーを考える。</p> <p>オムニバス講義のかたちをとり、学内外からゲストスピーカーをお招きして、さまざまな研究分野においてジェンダーが開くパースペクティブを示していただく。特に男性にとってジェンダー問題とはどのような意味をもつのかについての講義を充実させる予定である。また性的同意についてのワークショップなど、日常の実践に役立つ授業も計画している。</p>									
[到達目標]									
<p>(1) 日常の中でジェンダーにまつわる問題に気づくことができるようになる。</p> <p>(2) ジェンダーについて筋道立てて考えるための視角と基礎的知識を得る。</p> <p>(3) 現代日本のジェンダーを広い視野に位置づけて理解し、課題解決の方法についての見通しをもつ。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>第1回 今西亜裕美(ダイキン工業株式会社人事本部ダイバーシティ推進グループ長) ダイキン工業の「人を基軸に置く経営」をベースとした女性活躍推進とは?</p> <p>第2回 粟屋智就(医学研究科) 医学の視点から考える性別とジェンダー</p> <p>第3回 江川美保(医学研究科) 変化の絶えない女性のからだを生き抜くために:産婦人科医からの提言</p> <p>第4回 白井文(三洋化成工業株式会社取締役会議長(元尼崎市市長)) 女性の政治参加におけるジェンダー問題</p> <p>第5回 丸山里美(文学研究科) 女性の貧困</p> <p>第6回 柴田悠(人間・環境学研究科) 「父親育児」と「保育」の効果</p> <p>第7回 マヌー島岡(吉本興業株式会社) お笑いとお笑い#12316お笑いにおけるジェンダー</p>									
----- ジェンダー論(2)へ続く -----									

ジェンダー論(2)

第8回 伊藤公雄（京都大学・大阪大学名誉教授）
近代（男性主導）社会の黄昏を前に—ジェンダーイノベーションの可能性

第9回 川島隆（文学研究科）
LGBTQの歴史と現在

第10回 落合恵美子（京都産業大学）
日本のフェミニズム運動と女性政策—対立と協働と分断の歴史

第11回 木下彩栄（医学研究科）
大学入試とジェンダー

第12回 巽真理子（大阪公立大学）
仕事・働き方とジェンダー

第13回 小川公代（上智大学）
ケアと文学から考えるジェンダー

第14回 奥野明子（甲南大学）
男女の賃金格差

第15回 フィードバック

（ゲストスピーカーの都合により順序や内容が変更になる場合がある）

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点（毎回提出する小レポート）により評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

（関連URL）

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>（これまでの年度の講義の公開動画を視聴できる。）

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回の授業の後、1週間以内に小レポートを書いて提出する。

【その他（オフィスアワー等）】

ジェンダー論(3)へ続く

ジェンダー論(3)

[主要授業科目(学部・学科名)]